横浜能楽堂の大規模改修事業について

横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画に基づき、横浜能楽堂の天井脱落対策工事を 実施します。この工事は長期休館を伴うため、併せて長寿命化対策やバリアフリー対応 の工事を行います。

今年度は基本設計を行っており、その検討状況について、ご報告します。

1 主な改修内容

- (1) 安全性に関わるもの
 - ア 本舞台が設置されている客席(見所)の天井脱落対策
 - イ 受変電設備・自家発電設備等電気設備更新
 - ウ空調設備更新
 - 工 消火設備等更新
- (2) 施設運営に関わるもの
 - ア 照明LED化
 - イ トイレ等衛生設備更新
 - ウ 舞台音響・舞台照明設備更新
 - エ 内装更新及び屋上防水
- (3) バリアフリー向上を図るもの
 - ア 多目的トイレの機能拡充
 - イ エレベーターのサイズ拡張

2 本舞台(横浜市指定有形文化財)の工事中の扱い

横浜市指定有形文化財である本舞台は解体せず、養生等で保護し、工事中も適切に 保存します。

3 工事に伴う施設休館期間

令和6年1月から令和8年6月頃までの約2年6か月間、全館休館の予定です。

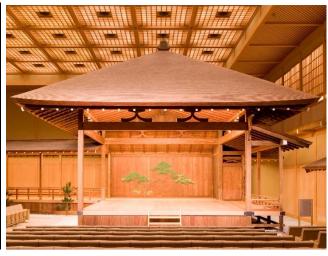
4 今後のスケジュール

来年度は実施設計を行い、その後3か年度にわたって工事を実施し、令和8年度にリニューアルオープンの予定です。

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
内 容	基本設計	実施設計	工事発注 工事	工事	工事	開館準備 リニューアル オープン

【参考①】施設概要

所在地	西区紅葉ケ丘 27 番地 2				
D) 1工 地 	(掃部山公園内)				
+左=几+日+苔	鉄筋コンクリート造				
施設規模 	地上2階地下2階建				
延床面積	5, 695. 93 m ²				
	本舞台「旧染井能舞台」(横浜市指定有				
施設内容	形文化財 平成8年5月20日指定)、				
	見所 (486 席)、第二舞台ほか				
竣工日	平成8年(1996年)3月11日				
開館日	平成8年(1996年)6月28日				



【参考②】本舞台「旧染井能舞台」の歴史

横浜能楽堂の本舞台(旧染井能舞台)は、染井能舞台として長く親しまれてきた能舞台を復元したものです。

明治8年(1875年)東京・根岸(台東区)の旧加賀藩主前田斉泰邸に屋外能舞台として建てられ、その後、大正8年(1919年)に東京・染井(豊島区)の松平頼寿邸に移築され、昭和40年(1965年)まで広く利用されてきました。

昭和40年11月に解体され、全部材が水道橋能楽堂の中に保存されました。この部材全てを横浜在住の能楽師であった田辺竹生氏が譲りうけ、昭和54年に本市に寄贈していただきました。